

大田区サイン基本計画
平成 26 年度 実績報告

平成 27 年 8 月
大 田 区

■ はじめに

大田区は、平成 21 年 9 月に「大田区サイン基本計画」（以下、「計画」という）を策定し、区民や来訪者が利用しやすく魅力的なまちづくりに寄与するサイン整備を進めてまいりました。

その後、羽田空港の国際線発着枠の増加や、東京オリンピック・パラリンピック開催決定により、一層増加が見込まれる国内外からの来訪者が、スムーズに大田区のまちを回遊できることなどを目標に、平成 26 年 8 月に計画を改定しました。

本報告書は、計画に掲げる「計画事業を着実に推進するための方策」に基づき、平成 26 年度の実績を取りまとめたものです。

引き続き、この新たな計画のもと、誰もがわかりやすいサイン整備に向け、各種施策を展開してまいります。

平成 27 年 8 月
大 田 区

§ 施策の体系

I 毎日の暮らしを支えるサイン

- 1 公共施設のサイン
 - 区立施設のサイン整備 P3
- 2 目的地へ誘導するサイン
 - 公共施設への誘導サインの整備 P5
- 3 主要駅周辺の案内誘導サイン
 - 蒲田駅東口・西口駅前広場の整備 P5
 - 大森駅周辺地区のまちづくり P5

II 大田区の魅力を高めるサイン

- 1 回遊性を高めるサイン
 - 観光案内サインの整備 P6
 - 国際都市に向けたサインの改修・整備 P7
- 2 潤い・やすらぎ空間のサイン
 - 散策路のサイン整備 P8
 - 自然観察路案内板の整備 P8
- 3 歴史・文化を支えるサイン
 - 大田区指定文化財標識のリニューアル P9
 - 地域資源の活用をめざしたサインのリニューアル . . . P10

I 毎日の暮らしを支えるサイン

1 公共施設のサイン

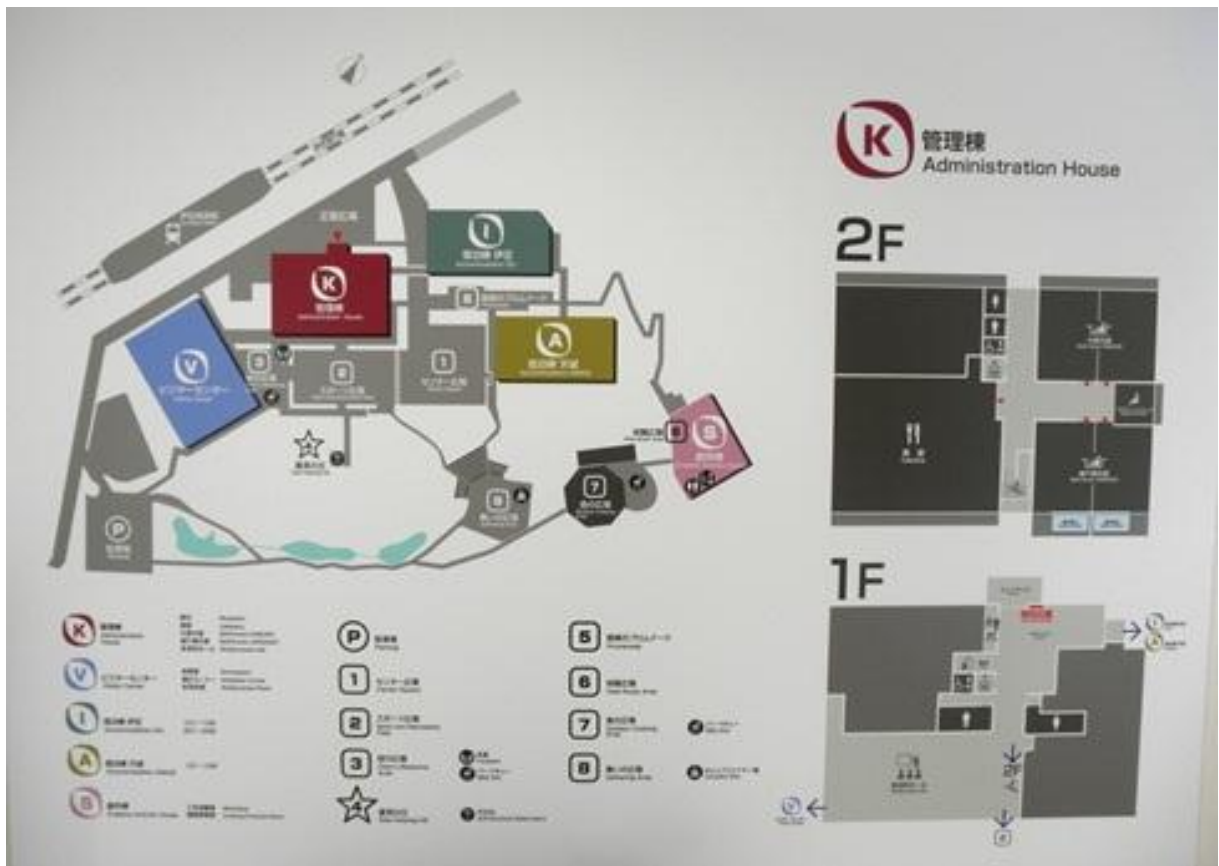
計画事業名	区立施設のサイン整備	
主な取組内容	大田区が設置または管理する施設の敷地・建物内において、ユニバーサルデザインの考え方や、平成 22 年6月に策定した「区立施設のサイン整備ガイドライン」に基づき、個々の施設の特性と、利用者の利便性向上に配慮したサイン整備を推進します。	
	所管部局	関係各部
平成 26 年度の実績		
庁舎内フロアサインの更新	本庁舎・地域庁舎のフロアサイン	<p>○平成 27 年 4 月からの組織改正に伴い、一部サインの変更を行いました。サイン変更にあたっては、以下の点を踏まえて変更を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や車椅子利用者にとって見やすいサインとするための床面サイン ・サインの連続性を重視した窓口番号による誘導 ・直観的な気づき効果を高めるためのトイレや階段等をピクトグラム表示 ・外国人の方にも分かりやすくするための各課案内板への外国語表記
	その他の施設	<p>○新井宿特別出張所改築工事が完了し、次のサインを整備しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路境界から主出入口まで及び主出入口から受付カウンターまで誘導ブロックを設置 ・総合案内、各階案内は外国語を併記 <p>○障がい者総合サポートセンター新築工事が完了し、次のサインを整備しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路境界及び身障者用駐車場から主出入口まで並びに主出入口から受付カウンターまで誘導ブロックを設置 ・1階出入口から各室出入口、エレベーター、トイレ入口まで、各階エレベーターから各室、トイレまで誘導ブロックを設置 ・総合案内、各階案内、窓口サイン及び室名サインは外国語を併記 ・1階出入口に音声案内付き触地図、各階トイレに触地図を設置 ・各階便所及び階段室に点字プレートを設置 <p>○志茂田小学校及び志茂田中学校改築工事の設計が完了し、次のサインを計画しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路境界から主出入口まで及び主出入口から主事室まで誘導ブロックの設置を計画 <p>○新蒲田福祉センター改築工事の設計が完了し、次のサインを計画しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路境界及び身障者用駐車場から主出入口まで並びに主出入口から受付カウンターまで誘導ブロックの設置を計画 <p>○平成 26 年度に竣工した伊豆高原学園について、施設を利用する児童や区民に対してピクトグラムや記号を用いてわかりやすいサインを整備しました。</p>
	個別窓口サイン	<p>○個別窓口サイン(建築審査課)</p> <p>利用者の視点に立ち、窓口番号を枝番化したサインを設置することにより、それぞれの窓口の業務内容をより具体的で判りやすいものとし、案内用に配布するフロアの業務案内表をこれに対応させました。</p> <p>利用者からの評判も良く、他の窓口からの案内も一層スムーズに行えるようになりました。</p>



本庁舎個別サイン（建築審査課）



障がい者総合サポートセンター



伊豆高原学園構内案内サイン

I 毎日の暮らしを支えるサイン

2 目的地へ誘導するサイン

計画事業名	公共施設への誘導サインの整備	
主な取組内容	公共施設の移転・開設などによる情報の更新を行い、区民の日常的な活動を支えるサイン整備を行います。 整備に当たっては、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、見やすい表示、案内性に優れた配置、多言語表記などに配慮するとともに、地域特性や周辺環境と調和するデザインを推進します。	
	所管部局	関係各部
平成 26 年度の実績		
施設の開設・移転に伴う案内誘導サインの整備	○障がい者サポートセンター開設に伴い、施設周辺の案内標識を取り替えました。(2箇所)	
施設の名称変更・組織改正等に伴う案内誘導サインの整備	○実績なし	

3 主要駅周辺の案内誘導サイン

計画事業名	蒲田駅東口・西口駅前広場のサイン整備	
主な取組内容	「蒲田駅周辺再編プロジェクト」で示した蒲田駅東口・西口駅前広場の初動期整備において、来訪者にわかりやすい案内板等の設置を推進します。	
	所管部局	まちづくり推進部、都市基盤整備部
平成 26 年度の実績		
蒲田駅東口駅前広場	○駅前広場の都市計画変更に向けた関係機関との協議を実施しました。	
蒲田駅西口駅前広場	○「蒲田駅西口駅前広場初動期整備デザイン基本プラン」を策定するとともに、「蒲田駅西口駅前サイン計画・基本設計業務」を委託し、本プランで示したサイン整備方針に基づき、駅前広場内の整備の検討と整備に当たっての課題をまとめました。	

計画事業名	大森駅周辺地区のまちづくり	
主な取組内容	公共施設整備や民間開発等の時期を捉え、地域特性を活かしたわかりやすいサインを検討し、まちづくり計画案等へ反映させるなど、サイン整備を推進します。	
	所管部局	まちづくり推進部
平成 26 年度の実績		
サイン整備の検討	○地権者組織「大森八景坂地区まちづくり協議会」による「大森八景坂地区まちづくり計画案」がとりまとめられ、区長へ提案されました。計画案の「まちづくりの実践」の中では、新たなサインの整備に関する具体的な取組みとして、坂の名称保全や貝塚・文士村等への誘導などが示されました。	

II 大田区の魅力を高めるサイン

1 回遊性を高めるサイン

計画事業名	観光案内サインの整備	
主な取組内容	平成 20 年度に策定した「大田区観光振興プラン」に基づき、観光情報や案内サイン・誘導サインの充実を図り、観光客をはじめとする大田区を訪れる人が快適に区内を回遊できる環境をつくれます。	
	所管部局	観光・国際都市部
	平成 26 年度の実績	
サイン整備	○池上本門寺エリアに大拠点サイン4基、中拠点サイン2基を設置しました。	



観光サイン（池上駅構内）

計画事業名	国際都市に向けたサインの改修・整備	
主な取組内容	羽田空港の国際線発着枠の増加や、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック等により、今後さらなる増加が見込まれる外国人来訪者や、区内の在住外国人が、区内をスムーズに回遊できるよう、道路標識等の案内サインの改修・整備を推進し、国際都市にふさわしい外国人受入環境の充実を図ります。	
	所管部局	観光・国際都市部、都市基盤整備部
平成 26 年度の実績		
サイン整備	<p>○国土交通省(関東地方整備局東京国道事務所)から、「道路案内標識の英語表記を進めており、訪日外国人旅行者受け入れ環境整備事業の戦略拠点となっている蒲田地域の整備を進めるため、大田区としてエリアを指定してほしい。」との依頼がありました。</p> <p>関係各課(計画財政課、都市基盤管理課、観光課)で検討し、羽田空港、京急蒲田駅とJR蒲田駅周辺、空港と蒲田エリアを結ぶ道路を対象エリアとして決定し、国土交通省に伝えました。</p> <p>○「訪日外国人旅行者の受入環境整備事業」における戦略拠点であるJR蒲田駅、京急蒲田駅周辺の道路案内標識の英語表記について、現地調査及び検討を行いました。</p>	

II 大田区の魅力を高めるサイン

2 潤い・やすらぎ空間のサイン

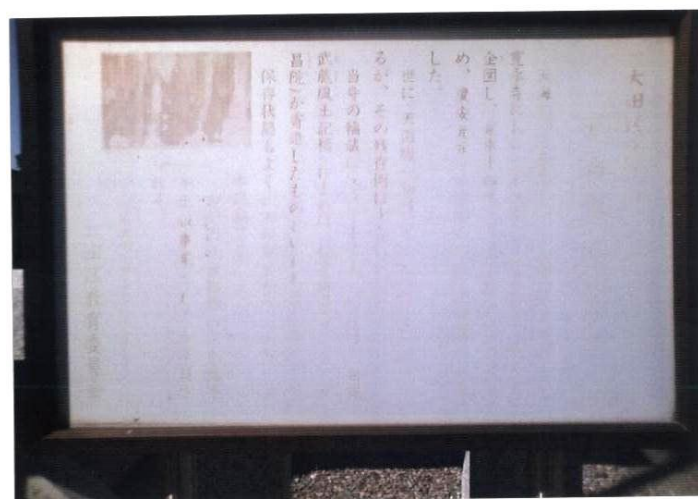
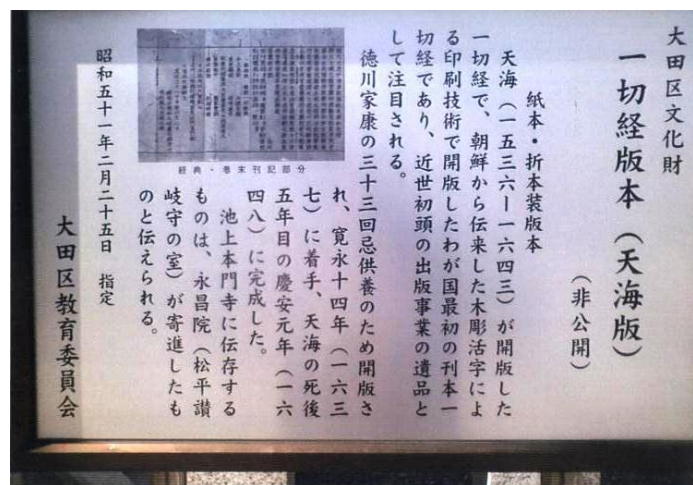
計画事業名	散策路のサイン整備	
主な取組内容	散策路沿いの歴史や自然環境など、地域資源を活かして、観光の視点を取り入れたサイン整備を推進します。	
	所管部局	都市基盤整備部
		平成 26 年度の実績
サイン整備	呑川緑道	○呑川緑道及び桜のプロムナードにおける散策路サイン整備基本計画見直しを実施しました。
	桜のプロムナード	

計画事業名	自然観察路案内板の整備	
主な取組内容	環境に関する情報提供の充実や環境学習への活用を図るため、自然観察路の現状調査を実施し、案内板の活用策やリニューアル等について推進します。まちなかの貴重な自然を観察しながら散策を楽しめるよう、観察路の再整備も視野に入れて取り組みます。	
	所管部局	環境清掃部
		平成 26 年度の実績
現状調査、推進	<p>○区内5か所の大田区自然観察路の一つ「縄文のみち」の調査を、区民と協働で実施しました。調査会には、延べ 104 名の区民に参加いただきました。</p> <p>○この調査結果を基に、自然観察路の充実に向けた報告書とパンフレットを作成し、また、観察路における案内板の現状把握に努めました。</p>	

II 大田区の魅力を高めるサイン

3 歴史・文化を支えるサイン

計画事業名	大田区指定文化財標識のリニューアル	
主な取組内容	地域文化の振興の一環として、大田区指定文化財標識のリニューアルを推進します。	
	所管部局	教育総務部
平成 26 年度の実績		
標識の現状調査及び整備方針の策定	○文化財標識板について、随時現状調査を行いました。	
標識のリニューアル	○文化財標識板の状況調査に従い、必要な補修(張替)を行いました。 (日朗聖人坐像、日輪聖人坐像、柄香炉、天海版一切経、紺紙金泥法華経、池上本門寺文書、梵鐘)	



文化財標識板の補修 補修後(上) 補修前(下)

II 大田区の魅力を高めるサイン

3 歴史・文化を支えるサイン

計画事業名	地域資源の活用をめざしたサインのリニューアル	
主な取組内容	馬込文士村や六郷用水、坂道名板など、歴史や文化、まちなみ、景観など、大田区の特徴を醸成する地域資源の活用をめざし、地域に点在するサインのリニューアルを推進します。	
	所管部局	都市基盤整備部、教育総務部
	平成 26 年度の実績	
サインの現状調査及び整備方針の策定	○実績なし	
サインのリニューアル	○くらやみ坂(山王二～四丁目)の坂道標柱を更新しました。 ○地域資源にかかわるサインの内容について、情報提供等の側面支援を行いました。	



くらやみ坂坂道標柱

大田区サイン基本計画
平成 26 年度 実績報告

平成 27 年 8 月

発行 大田区計画財政部

〒144-8621 東京都大田区蒲田 5-13-14

電話 03-5744-1444

FAX 03-5744-1502